令和４年度　シラバス　　松山北高等学校中島分校

教　科	芸　術	科　　目	書道Ⅱ	学　年	第　２　学年	講　座	２年１組
単位数	２単位	教 科 書	新編　書道Ⅱ（　教育出版　）				
副教材	なし						

学習目標	書道における創造的な活動をとおして、書を愛好する心情を育て、また書を楽しむ態度を養い、感性を高め、書の文化や伝統についての理解を深める。これらの学習をとおして、個性豊かな表現力と書の美しさを感じ取る鑑賞力を伸ばす。

		学　習　計　画　及　び　内　容		考　査
1学期	４月 ５月 ６月 ７月	書の美を求めて 漢字の書の学習 金文の鑑賞と臨書 石鼓文の鑑賞と臨書 篆刻・刻字の学習 乙瑛碑の鑑賞と臨書 十七帖の鑑賞と臨書 書譜の鑑賞と臨書 半切作品の制作	・身のまわりや生活の中にある書について、その意義や効果について学習する。 ・篆書とはどのような書体かを知り、歴史的位置づけを理解する。 ・書表現の一分野としての篆刻・刻字の意義を理解する。 ・代表的な草書の古典を鑑賞し、作者や時代背景等に関する知的理解をする。臨書学習で各古典の特徴を把握して、草書の基本的な用筆法を習得する。 ・習得した技法を生かして、作品制作を行う。	第１回考査 第２回考査
2学期	８月 ９月 10 月 11 月 12 月	漢字の書の学習 顔勤礼碑の鑑賞と臨書 魏霊蔵造像記の鑑賞と臨書 集王聖教序の鑑賞と臨書 祭姪稿の鑑賞と臨書 温泉銘の鑑賞と臨書 半切作品の制作	・代表的な楷書の古典を鑑賞し、作者や時代背景等に関する知的理解を経て、臨書学習で各古典の特徴を把握する。 ・代表的な行書の古典を鑑賞し、作者や時代背景等に関する知的理解を経て、臨書学習で各古典の特徴を把握する。 ・学習した古典を題材とし、習得した技法を生かして、作品制作を行う。	第３回考査 第４回考査
3学期	１月 ２月 ３月	漢字仮名交じりの書の学習 漢字の書の学習 学習のまとめ	・詩文・形式・用具・用材、構成など工夫し、漢字と仮名の調和の方法を考え、自分の感性をどのように表現していくかについて考える。 ・学習した古典を題材とし、習得した技法を生かして、作品制作を行う。 ・一年間の授業で取り組んだ清書の作品をまとめ、作品集にする。	第５回考査（３年１月）（１、２年３月）

学習の方法	１　「表現」の内容は、主に古典の名跡をもとにした臨書で、用筆・運筆、また字形や全体の構成などの基本的な技法を習得する。 ２　「鑑賞」においては表現されたものの特性、表現効果、価値などの知的理解を深め、美に対する感受性を養う。 ３　地域の文化財や美術館などを鑑賞する機会を作り、積極的に書美を鑑賞する姿勢を養う。

	書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
評価の観点	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現と鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身につけている。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。

備考	